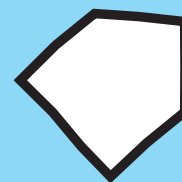


現場名

様邸

担当現場監督



現場安全マニュアル

顧客満足度は、現場品質管理力と、家づくりに関わる職方さん達の真摯な取り組み姿勢、近隣の評価によって大きく左右されます。

本マニュアルは、現場マナーの向上と、より安全な現場の実現のための、基本的なルールを記載しています。

現場に出入りする全ての職方さんに本マニュアルをお読みいただき、名匠家の現場品質の向上にご協力をいただけますようお願いいたします。

お客様が既にお住まいになっている気持ちで現場対応をしていきましょう。

横浜・多摩地域の上質な家づくり・家守りを重ねるネットワーク



めいしょうや

株式会社あすなろ建築工房

富士ソーラーハウス株式会社

株式会社山田建設

株式会社吉田工務店

I. 名匠家現場ルール厳守項目

\\ ご注意ください! //



イエローカード …このマークがついている項目は、名匠家が特に重視している必須項目です。繰り返し注意を受けても守れない場合、現場への入場をご遠慮いただくことがありますので、注意してください。

1. 就業中の完全禁煙

就業時間内は**完全禁煙**とします。

(敷地外、車の中での喫煙も、たばこの匂いはや呼気に残り、吸わない人には気になるものです。電子タバコであっても禁止とします。)

2. 挨拶の奨励

お客様と近隣の方々からご協力をいただいて工事が進んでいることを念頭に持ち、お客様や近隣の方々と接した場合、**すすんで挨拶**してください。

お客様や近隣の方々から挨拶を受けた時は、**必ずきちんと挨拶を返して**ください。

3. 駐車のマナー

やむを得ず、路上駐車をする場合は、近隣の方々等への最低限のマナーを忘れないようにしましょう。

- ①現場では近隣の方や通行車両等の迷惑にならないように駐車し、**迷惑カードを必ず見やすい位置に表示**してください(例・ダッシュボードに立てかけるなど)。
- ②**輪留めを装着し、状況に応じてカラーコーンを置いて**ください。
- ③路上駐車時の扉、トランクの開け放しは見苦しいだけでなく、思わぬ事故につながるので、これを禁じます。
- ④**車のエンジンをかけての休憩や食事は迷惑行為**となりますので、これを禁じます。



◎ 輪留めを装着した状態



◎ 迷惑カードの提示

4. 音のマナー

近隣の方には、現場での話し声や作業以外の音も聞こえていますので、音の発生に気をつかうようにしてください。

- ①現場内では、**ラジオは完全に禁止**とします。
- ②ヘッドホン、イヤホンをつけて音楽を聴きながらの作業は、見苦しいだけでなく、危険を伴う場合があるので、これを禁じます。
- ③休憩中も含め、現場内で大きな声で雑談しないようにしましょう。また、言葉遣い、話の内容にも充分注意してください。

5. 上履きの着用（床下地設置後）

床下地設置後は、**各自上履きを着用**してください。

- ①上履きについては、各自で準備してください。
- ②サンダル、靴のスリッパ履きはやめましょう。
- ③現場に用意されている上履きはお客様用ですので、使用しないでください。



◎ 室内では上履きにはきかえましょう

6. ゴミの分別の徹底と支給材以外の端材、生活ゴミの持ち帰り

- ①現場にて**各個人が出した生活ゴミ（弁当のくず、空き缶、ペットボトル、新聞、雑誌等）は、現場に置いてある建築廃材入れに入れず、各個人で持ち帰って**ください。
- ②リサイクル処分のため、ダンボール、石膏ボードは水に濡らさないでください。

7. 作業場の復帰と後片付け

- ①各業者とも、一定の場所での作業が終わり、次の作業または、**次の場所に移動する場合は必ず作業場の復帰、後片付け**をし、他業者への配慮を心がけてください。
- ②足場や足場ネットを一時的に撤去した場合も、安全のため必ず元の状態に戻すようにしてください。
- ③お施主様や将来お客様となり得る方が現場に来られる等、いつ何時どこから見られているかわかりません。**見せる現場づくり**を心がけてください。

8. 入退場記録の徹底

現場への入場及び退場の際は、各工務店の所定の方法により、入退場記録を必ずつけるようにしてください。

9. ヘルメットの完全着用

①現場での事故を防ぐため、**現場監督の指示に従い、必ずヘルメットを着用**してください。

お客様の満足度は無事故が最低の基準でもあり、あなたの大切な身体を守ります。
着用していない場合、退場していただく場合があります。

ヘルメットを着用していない人を見かけた場合は、遠慮せず注意をしてください。

②使用開始日及び氏名、血液型を記入してください。

ヘルメットは経年劣化していきます。**有効な性能は3年間**です。ヘルメットには
使用開始日を記入し、**3年以内に交換**するようにしてください。

名匠家 現場安全ルール

Please wear a helmet.

ヘルメットは 敷地内完全着用

頭部を守る二つの役割

**墜落、転倒、衝突
などの衝撃から
あなたを守ります**

**飛来物や落下物から
あなたを守ります**

保護帽（ヘルメット）の着用は、労働安全衛生規則（第 517 条の 13、第 518 条等）及び厚生労働省行政指導通達（H8.11.11 基発第 660 号の 2）等により定められています。

**こんな時も・・・
ヘルメット着用をお願いします。**

足場に乘らないから

足場に乘っていないから、落下物や衝突などの危険性があります。

納材するだけだから

短時間でもケガをする可能性があります。**納材業者の方もご協力ください。**

造作、仕上げ工程だから

脚立使用時や吹抜け等の高所作業ではヘルメットの着用が必要です。

例外として、内部造作作業及び内部仕上げ作業時は除きますが、
脚立使用時や吹抜け等高所の場合は着用をお願いします。

ヘルメットをお持ちでない場合は現場スタッフにお声掛けください。

10. 仮設材料の養生と整理整頓

- ①現場に搬入された材料等が、汚れたり雨に濡れることを防ぐために、**ブルーシート**で**きちんと養生**してください。
- ②仮囲いは確実に並べ、破損することがないように大事に扱ってください。
また、仮囲い・ゲートは必ず閉めてください。

11. 仮設トイレの使い方

- ①きれいに使うよう心がけましょう。
- ②使用後の扉はきちんと閉めてください。
- ③トイレ用の備品が足りない場合は、担当現場監督へ連絡してください。

12. 保安ボックス

お客様ご来場時には、保安ボックス内のスリッパ、ヘルメット等を出してご案内してください。



◎ 保安ボックス設置例

●保安ボックスに入っているもの

1	スリッパ	
2	ヘルメット	
3	消火器	
4	薬箱	

13. 体調管理

安全な現場は、働く人の体調管理から。体調に異変を感じたら、無理をせず、休憩をとったり周囲の人に知らせてください。

特に、夏場は熱中症リスクが高まります。水分補給、規則正しい生活を心掛けましょう。

Ⅱ．現場清掃のルール

現場清掃は、下記の表を参考に、1日5回行いましょう。

現場清掃には、単純に現場を綺麗にするという目的もありますが、整理整頓された状態を保持することにより、働いている皆さんにもメリットがあると考えています。

ゴミが少なく、足元が整理整頓された状態ですと、物につまづく危険性がなくなります。足元を気にせず作業に集中することができ、作業効率も上がるのではないかと思います。

また、掃除をきっかけに、頭を一度リフレッシュし、今行っている作業以外のことにも目を向け、視野を広げることができます。その結果、周囲に危険がないか等の確認ができ、安全につながってくると思います。

大事な作業時間を掃除に使うのは、少し抵抗があるかと思いますが、お客様が安全に見学でき、皆さんが安全に作業できる現場環境づくりのため、ご協力をお願いいたします。

●現場清掃の目安

時間帯	清掃箇所	担 当
作業開始 5 分前	道路及び近隣	朝一番作業開始者
10:00 頃（休憩前）	①敷地（建物周辺） ②各自の作業範囲	当日作業者全員
昼食前	各自の作業範囲	
15:00 頃（休憩前）	各自の作業範囲	
作業終了 5 分前	①道路及び近隣／敷地（建物周辺） ②各自の作業範囲 ③仮設トイレ 便器のブラシ掃除 便器周辺の汚れ落とし、掃き掃除	

●常設掃除道具リスト（外用）

1	ほうき	2本
2	ちり取り	1個
3	ホース	1本
4	デッキブラシ	1本
5	トイレ用ブラシ	1本
6	トイレ用洗剤	1個
7	トイレットペーパー	2個
8		

●常設掃除道具リスト（内用）

1	座敷ほうき	2本
2	ちり取り	2個
3		
4		
5		
6		
7		
8		

* 掃除道具は原則、仮囲いに設置（常設）しています。
 * 現場への道具の設置、管理、補充は現場監督が行います。
 * 不足の場合は監督に連絡してください。



◎掃除道具設置例（外部）



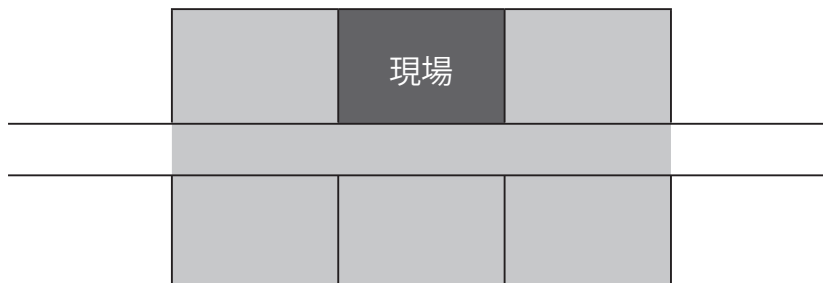
◎トイレ備品設置例



◎掃除道具設置例（内部）

Ⅲ．現場清掃の基準

1. 近隣及び道路の清掃範囲は、現場の向こう三軒両隣を目安とし、現場監督の指示に従ってください。



2. 水洗いまたはほうきで清掃し、柵付近に泥を残さないようにします。



× 道路に泥汚れを残さないようにしましょう



○ 泥などをきれいに清掃しましょう

3. 敷地内には不要なものは置かず、敷地内にゴミがないように気配りしてください。



× 敷地内に余分なものを置かないようにしましょう



○ 敷地及び周辺への気配りをしましょう

4. 建物内部は、当該工事及び当日工事終了毎に掃除機掛けを基本とします。



× こまめな清掃を心掛けましょう



◎ 床下となる土間も掃除機掛けをしましょう

5. 資材はまとめて整理整頓しておきましょう。



× 資材は整頓し、歩行の妨げにならないように心掛けましょう



◎ 安全のため、整理整頓を心掛けましょう

6. 道具置き場として室内の棚や押し入れ、ユニットバス内を使用せず、指定された場所に保管してください。



× ユニットバス等を道具置き場にしない



◎ 道具棚の設置例

IV. 名匠家共通 職種別清掃留意点

前項の「名匠家現場ルール厳守項目」を厳守すること。

また、「養生の徹底」及び「道路にわだちを残さないこと」については、下表に記載されていない場合も、全業者において共通事項とします。

工事種別	清掃等に関する留意点
解体工事	・隣家及び道路に解体破片、釘、金物等が落ちていないか毎清掃時に確認を行い、落ちていた場合は直ちに除去する。
地盤調査 改良工事	・道路にわだちを残さない。
仮設工事 (仮囲い) (トイレ)	・道路にわだちを残さない。 ・トイレ搬出時には、設置場所及びひきずった部分の整地を行う。
基礎工事	・道路にわだちを残さない。 ・敷地内の不陸調整を行い、清掃する。 ・残コンクリートは適切に処理する。 ・杭・貫等の資材の整理整頓を行う。 ・工事完了後の釘、金物等の破片を片付ける。 ・基礎は、泥で汚さない。
足場工事	・足場組時、基礎天端に乗らない。 ・基礎コンクリート上の泥の清掃を行う。 ・足場解体時、建物に足場を立てかけたり、仕上げ部分に足場材を置かない。 ・解体後に資材を残さず、道路に釘、金物等が落ちていないように清掃を行う。 ・解体時の下屋根の清掃を行う。
木工事	・玄関ポーチ、玄関ホールには、お客様スリッパ・ヘルメット以外の物を置かない。 ・資材（木片含む）は各自の責任の下に整理整頓を行う。 ・素足で歩いても汚れない状況を作る。 ・窓台及び棚、住設機器の上に物を置かない。 ・大工道具及び釘、金物等は道具置き場を作り、整理整頓する。 ・外部施工時、建物の外周に材料くずが落ちていないよう、目視点検を行う。 ・下屋上での作業後は、しっかり清掃を行う。 ・足場の作業床に工具や資材を置き放しにしない。
給排水設備	・道路、近隣の泥汚れは水洗いを行い、清掃する。 ・現場に資材を置く場合には、整理整頓する（基本的には置かない）。 ・施工発残材は、その日のうちに片付ける。 ・住設機器の上に物を置かない。 ・外部施工時、建物の外周に材料くずが落ちていないように清掃を行う。 ・水圧及び排水検査完了後は、設備機器を清掃する。 ・基礎コンクリート上の清掃を行う

電気設備 空調設備 ガス設備	・施工発生残材は、その日のうちに片付ける。 ・外部施工時、建物の外周に材料くずが落ちていないように清掃を行う。 ・足場の作業床に工具や資材を置き放しにしない。 ・施工資材置き場は整理整頓し、まとめ置きをする。
住設機器工事	・梱包材は分別し、まとめ置きをする。 ・施工資材置き場は整理整頓し、まとめ置きをする。
屋根工事 瓦工事	・資材は整理整頓する。 ・工事周辺は毎日点検し、欠片等落ちていないようにする。 ・その他関連ゴミは、その日のうちに片付ける。 ・足場の作業床に工具や資材を置き放しにしない。
板金・樋工事 外壁工事	・建物外周に材料くず等が落ちていないように清掃を行う。 ・足場の作業床に工具や資材を置き放しにしない。 ・下屋に足跡などを残さないように清掃を行う。
防水工事	・防水資材等が敷地内外に落ちていないように清掃を行う。 ・足場の作業床に工具や資材を置き放しにしない。
金属製建具工事	・置き場所を現場監督と決定し、適切な場所に置くこととする。 ・網戸取り付け時、ガラスに手垢が付いた場合には拭き取るか、もしくは手袋着用とする。 ・網戸取り付け時は、室内が汚れないよう注意を払う。 ・足場の作業床に工具や資材を置き放しにしない。
塗装工事	・塗装後、外壁及び水切り等に塗装だれ等がないかを確認し、清掃を行う。 ・養生資材は、その日のうちに片付ける。 ・養生資材は、玄関には置かない。 ・外部施工時、建物の外周に材料くずが落ちていないように清掃を行う。 ・足場の作業床に工具や資材を置き放しにしない。
左官工事	・破片及び余ったモルタル等は適切に処理する。 ・タイルを外部で加工する場合は、ブルーシート等で養生した上で行う。 ・外部施工時、建物の外周に材料くずが落ちていないように清掃を行う。 ・足場の作業床に工具や資材を置き放しにしない。 ・作業後、汚れを確認し清掃して退出する。
内装工事	・パテ工事は、その都度完了した部屋ごとに掃除機で清掃を行う。 ・クロス貼り後、ノリの拭き取りをその都度行う。 ・施工資材置き場は整理整頓し、まとめ置きをする。
木製建具工事	・施工資材置き場は整理整頓し、まとめ置きをする。 ・切り込み完了後の切りくずの清掃を行う。
畳工事	・畳敷き込み前に清掃を行う。 ・落ちたごさくず、い草等が残らないように清掃を行う。
外構工事	・道路側溝にモルタル等を流さない。 ・道路にわだちを残さない。



めいしょうや

名匠家現場安全マニュアル

発行日 2022年10月1日

編集人 名匠家マナー向上委員会

発行者 SAREX（住環境価値向上事業協同組合）名匠家事務局